

大分高専39人

サイバー犯罪ボランティア

県警
委嘱

県警サイバー犯罪対策課は23日、大分市の大分工業高等専門学校(大分高専)の学生39人に「サイバー犯罪ボランティア」を委嘱した。インターネット犯罪の被害



ボランティアの委嘱を受ける学生

「パパ活」「薬物」… 犯罪につながるキーワード検索

防止のため、SNS(ネット交流サービス)などに親しみのある学生に協力してもらい、ネット上の有害情報 の早期発見につなげる。

同校は県警と2019年にサイバー犯罪防止のための協定を結んでいる。ボランティアに参加する学生は月1回、ネットやSNS上で「パパ活」や「薬物」な

有害情報発見、報告ど犯罪につながるキーワードを検索し、有害情報を見つけたら警察庁が委託する「インターネット・ホットラインセンター」に報告する。20年は343件を報告した。

同校4年の大川内健太さん(18)は「犯罪を減らすため自分ができることをしたい」と話した。【辻本知大】